



照明普及会だより

第16号

平成5年10月

発行・社団法人照明学会・照明普及会

〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル 北館5F
電話 (03) 3201-0645

レインボーブリッジ



完成写真



皇太子ご成婚記念ライトアップ

所在地：起点 東京都江東区有明2丁目

終点 東京都港区海岸2丁目

規模：全長 918m 主塔高 126m

桁幅 29m

照明設計：(株)石井幹子デザイン事務所

橋の長さが918mと東日本で最大のつり橋となるレインボーブリッジは、埋立地である臨海部と、既存の市街地とを結ぶ道路混雑を緩和するため、また、臨海副都心の港湾物流機能強化を目的として行われた。

国際都市東京の新しいシンボルとして、魅力的な夜間景観を創出するために、橋全体に渡って施されたライトアップ設備は、落陽の訪れとともに点灯され、夏は涼しく、冬は少しだけ暖かく、深夜はほんのりと、光色の変化によって

時報を知らせるケーブルイルミネーションとともにレインボーブリッジの勇姿を東京港の水面へと写しだす。

照明施設概要：主塔照明 投光器

メタルハライドランプ

1kW, 700W

高圧ナトリウムランプ660W

補剛桁下面照明 投光器

水銀ランプ1kW, 700W

アンカレイジ照明 投光器

蛍光水銀ランプ250W

ケーブル イルミネーション

無電極ランプ18W (白・緑・

コーラルピンク)

(資料提供 東芝ライテック(株))

平成5年度照明普及会事業計画

1. 「照明普及会だより」の発行（年3回）
（第16号～第18号）
2. ライトアップ事例集の作成
（ライトアップ'94）
平成6年上期発行。平成5年度資料収集する。
3. 照明普及賞の表彰規則の見直しと実施
 - ①現行の照明普及賞規則の見直し，選考基準の見直し，地方賞の創設検討。
 - ②照明普及賞受賞施設資料の永久保存方法の検討。
4. 優秀照明施設，照明普及功労者の表彰
平成5年に建設された優秀な照明施設及び永年にわたる照明普及の功労者を表彰。
5. 照明コンサルタント支援体制の検討
各地区で照明コンサルタントが必要となった場合の普及会での支援体制を検討する。
6. 「あかりの日」行事への参画
関係3団体と共催し，「あかりの日」キャンペーンを実施する。
7. 刊行物の発行
 - ①あたらしい照明 116号「平成4年照明普及賞」号（平成5年5月発行） 117号 特集号
 - ②照明教室 71号「余暇時代のスポーツ照明」 72号「やさしい照明入門」
8. 「照明と省エネルギー」冊子の作成
省エネルギーに関するセミナー及びテキストを作成する。
9. 照明普及活動の推進
各地区で講演会，講習会等を実施する。
10. 運営委員会，事業連絡会
各地区との連携をはかるため，情報交換を年2回実施（上期，下期）する。

平成5年照明普及賞募集案内

本年も昨年につづき，平成5年照明普及賞の募集を行ないます。対象は平成5年1月1日～12月31日に竣工した施設に限り，維持員による推薦がなければ応募できません。維持員を兼ねない，照明学会賛助会員の推薦では応募できませんのでご注意ください。推薦要領及び推薦用紙は，11月20日以降，維持員窓口あて事務局より発送いたします。応募締切は，平成6年1月31日です。（ただし，関西地区応募分については，審査要領が異なる関係で，平成5年11月30日を最終月とします。詳しくは下記関西地区事務局あてお問い合わせ下さい。電話06-441-8821 関西電力お客さま本部住宅関連チーム勝山まで）

平成5年度照明学会全国大会開催される

平成5年度全国大会は平成5年7月21日～23日仙台で開催されました。講演のあった21～22日の2日間で延べ800名の参加者がありました。一般講演145件 シンポジウム15件
特別プログラムでは，230名の参加があり，東北大学の内田教授による「液晶デバイス」に関する講演，論文賞・研究奨励賞の表彰式，研究・教育助成金授与式が行われました。夕方，引き続き，懇親会が行われ，192名の参加者がありました。平成6年度は7月26日より，3日間，芝浦工業大学大宮キャンパスにおいて，国際シンポジウム，全国大会（一般講演，ポスター発表）が行われる予定になっております。詳細は学会誌12月号会告欄参照。

平成5年度照明普及会部会委員会報告

（平成5年7月～10月7日）

- 7月6日 企画推進委員会
- 平成5年度事業計画を説明し，専門部会の設置と主査を選出し，年間スケジュールについて審議した。
- 8月3日 照明教室専門部会
- 照明教室72「やさしい照明入門（仮称）」のストーリーを審議し，各自作業分担を決定した。
- 9月6日 照明普及会だより専門部会
- 平成5年度発行分について，編集企画方針を決定し，編集担当者を選出し，執筆分担した。
- 9月14日 照明教室専門部会
- 各自執筆分担したものをもちより，ストーリーの調整を行った。
- 9月20日 照明普及賞検討専門部会
- 各維持員にアンケート調査した結果に基づいて，平成5年実施可能なもの，平成6年以降実施可能なものに分け，逐次審議した。
- 10月7日 企画推進委員会
- 平成5年度事業計画の進捗状況の報告を行い，今後のすすめ方を検討した。

北陸地区普及活動状況

北陸地区では、照明学会北陸支部の「照明改善委員会」が中心となって照明普及の諸活動を行っています。以下、その概要についてご紹介いたします。

1. 組織

「照明改善委員会」は、照明の知識普及や施設の改善を図ることを目的に照明学会北陸支部の設立（昭和30年）とほぼ同時に設立され、以来現在まで連綿とその活動を続けている伝統のある組織です。

委員は、大学、電力会社、メーカー、工事会社などの関係団体からのメンバー10数名で構成されています。

この委員会には、「運営部会」「調査研究部会」「資料部会」の3つの部会があり、各委員はいずれかの部会に属しています。「運営部会」は委員会の年度計画等の作成、「調査研究部会」は照明知識の普及と照明施設の改善に関する調査研究、そして「資料部会」は支部機関誌「照明北陸」の発行をそれぞれ担当しています。

ちなみに、この機関誌は昭和43年の発刊以来25年の歴史を有し、通算第84号を数え、諸先輩

の活動がしのばれる、当支部の貴重な財産となっています。

2. 活動状況

「照明改善委員会」のいままでの活動を振り返ってみますと、まず昭和40年代では、「定時制高校の照明実情調査」「農村の住宅照明の実態調査」「北陸における商店照明の実態調査」などを実施し、50年代には、「スポーツ照明の手引き」「工場照明の手引き」「住宅照明の手引き」などを発行して関係方面に広くPRしています。

その後60年代に入り、商店街照明や都市景観照明に関するアンケートを実施し、それをもとに指導、コンサルタント活動を展開してきました。最近では、平成3年の本部75周年記念事業の1つとして「明かりのあゆみ展」を開催いたしました。今年は住宅団地や商店街の街路照明の調査を行っていく予定です。

これからも各委員には、役員、先輩諸兄のご指導のもとに、北陸地区の照明普及改善のために、ますますの活躍を期待したいと思います。



明かりのあゆみ展



照明北陸

TEPCO 新エネルギーパーク

7月24日、東京電力富津火力発電所の構内に「TEPCO 新エネルギーパーク」がオープンしました（写真右）。

このパークは太陽光発電や風力発電、燃料電池の新エネルギーの研究設備、展示施設、公園施設を併せ持つ複合施設です。それらの設備の見学を通して、新エネルギーについて理解してもらおうというもので、子供から大人まで楽しめるように、施設はゲーム等、触れたり、操作したり、新エネルギーの世界を実際に体感できるように工夫されています。

展示施設は大きく分けて◆新エネルギー館（エントランスホール、オリエンテーションホール、研究開発の部屋、太陽の部屋、光の部屋、風の部屋、化石の部屋、面白データルーム）◆太陽の広場（ソーラーキャビン、ソーラーサーキット）◆風の広場（風の砦、風のテラス）◆風の池となっています。

なお、以上の各展示施設の中で目新しい装置として、注目を集めているのは、9kW太陽光発電装置、50kW燃料電池発電装置、300kW風力発電装置、ソーラーカートなどがあります。

（資料提供 東京電力）



新エネルギーパーク エントランスホール



- 交通機関：JR内房線青堀駅または君津駅下車
 ●無料送迎バスをご利用下さい（青堀駅から約10分、君津駅から約20分）
 運行時間 ●JR君津駅南口 10:45発/12:45発/14:45発
 ●JR青堀駅前 9:40発/11:55発/13:50発/15:35発
 ●駐車場は、大型バス4台分、乗用車46台分
 ■開園時間：9:30～16:30（16:00までにご入園下さい）
 ■休園日：毎月第2月曜日および年末年始（12月28日～1月4日）
 ■入場料：無料
 ■お問い合わせ先：TEPCO新エネルギーパーク
 〒299-12 千葉県富津市新富25
 TEL 0439-87-9191（代表）
 FAX 0439-87-9190

空港北トンネル

施設のあらまし

羽田新空港と環状8号線を結ぶ、延長9.1kmの『高速湾岸線』が完成した。

この内、トンネル部分がトンネル部3.7km、半地下部分3.6km、平面部分0.4km、高架部1.4kmとなっており、トンネルには、従来あまり使用されていなかった高圧ナトリウムランプが採用された。

使用光源

基本照明…高圧ナトリウムランプ180W、調光入口照明… 180W+220W+360W

採用理由と特徴

首都高速道路公団内に「トンネル照明に関する調査委員会」が発足し、長年に亘り調査研究を重ねた結果、従来に比べ格段に演色性に優れ、高効率、長寿命、周囲の温度変動に対する安定性が高い等の評価を得たものである。

また、トンネル内の視環境改善を目的に、天

井両側取付け直下照射方式を採用している。

体感の印象

オレンジ色の濃度が淡くなり、かなり明るく感ずる。また、モノトーン一色の世界ではなく、かなり色彩が蘇った空間となっている。さらに、ランプが天井へ埋め込まれており、光源のまぶしさがドライバーの眼に入りにくくなっている。

（資料提供 松下電工(株)）

